



少年事件における『教育的働き掛け』のご紹介！

少年審判は、
テレビ等で放映される刑事裁判とは大きく異なります。
今回は憲法週間行事として、少年審判の手續の中から
『教育的働き掛け』についてご紹介します。



少年審判の一般的な流れ

まずは流れをおさえよう！



少年事件の受理

警察，検察庁等から事件が送致されます。
裁判官が調査命令を出します。

注目

家庭裁判所調査官による調査・教育的働き掛け

審判

『教育的働き掛け』の内容をもふまえて、
裁判官が少年に対する処分を決定します。

処分(少年院や保護観察など)



※審判や処分をしない場合もあります。

家庭裁判所調査官

家庭裁判所調査官による『教育的働き掛け』
を詳しく取り上げるよ！



Q1 家庭裁判所調査官ってどんな人？

行動科学の専門職です。

少年がどうして犯罪をしたのか，繰り返さないためにはどうすれば良いか
について，心理学，社会学などの専門知識・技法を活用して調査し，裁判官
に報告します。

Q2 家庭裁判所調査官の調査ってどんなことをするの？

家庭裁判所調査官は，少年の生い立ち，性格，心理状態，家族関係，友人
関係，学校関係など，たくさんを確認します。

その中で，犯罪につながった原因を少年や保護者と一緒に考え，見つける
のが第一の働き掛けになります。

その上で，再び過ちを犯すことがないように，少年や保護者に今後の対策を考え
てもらったり，具体的なやり方を身に付けてもらったりします。

横浜家裁での教育的働き掛け例

たくさんの種類があるよ！



社会貢献活動

ボランティアの協力を得て、少年と保護者が公園清掃などで社会に貢献します。

万引き被害を考える会

少年と保護者が、お店の方から、万引きが周囲に与える経済的、心理的被害を教えてもらいます。

保護者会

保護者が、親子関係についての専門家から、親子の望ましいコミュニケーションについて具体的に学びます。

注目

SNS講習

少年と保護者が、インターネットの専門家から、インターネット社会の特性、コミュニケーショントラブルと情報の公開範囲の重要性、さらには望ましい家庭でのルールについて、教えてもらいます。



横浜家裁の裁判官にインタビュー

Q1 どんな気持ちで審判をしていますか？

ドキドキです。やってしまった事件について、少年が反省して事件を繰り返さないでほしい。お父さんやお母さんも、大変だろうけど頑張ってもらいたいと思っています。



Q2 「教育的働き掛け」にどんなことを期待していますか？



家庭裁判所調査官に行動科学の知見をいかした専門性を発揮してもらい、少年や保護者に、犯罪の原因と対策をよく理解してもらおう、ということですね。

いかがでしたか？

家庭裁判所は、単に裁判をするだけでなく、いろいろな方法で少年・家族・社会の「つながり」を作り、少年の再非行防止を目指しています。

家庭裁判所の役割や活動に、少しでも興味関心を持っていただけたら幸いです。